

令和元年度東北地区知的障害者福祉協会職員研修大会

東北フォーラム2019 in あきた  
～この仕事の夢・喜びを東北から発信～

開 催 要 項

◆目 的

私たちは日々利用者の皆さまの「本人の夢や希望や思い(ニーズ)を見出し、実現するための創意工夫を凝らした取り組み」を実践し、それにより私たち職員自身の「喜び」や「やりがい」「思い」にも通じる所であります。

一方で日々、利用者の皆さまと接する中で、より良い支援をしたい、でも上手くできない、どうしたらいいのかわからないという思いを抱く方も多いのではないのでしょうか。

今回のフォーラムでは、昨年に引き続き【体験】をテーマに、様々な支援のしかた、視点の持ち方を実際に体験して頂き、参加された皆さまの職場へ持ち帰り、新たな支援の取り組みのきっかけになればと考えています。

「東北フォーラム物産展」も盛大に開催しますので、就労支援事業の職員交流と活性化、そして育成を図り、生産活動のブラッシュアップを目指しましょう。また今年は「みんなのアート」として、秋田県内在住の利用者の皆さんの作品を展示します。そちらもご覧いただき、心の共有を図ってみてはいかがでしょうか。

◆主 催 東北地区知的障害者福祉協会 秋田県知的障害者福祉協会

◆後 援 秋田県社会福祉協議会 秋田県手をつなぐ育成会  
(予定) 秋田県知的障害児者生活サポート協会

◆期 日 令和元年11月7日(木)～11月8日(金)

◆会 場 秋田市 秋田キャッスルホテル  
〒010-0001 秋田県秋田市中通1丁目3-5  
TEL018-834-1141  
FAX018-831-0518

◆参 加 東北地区知的障害者福祉協会会員施設職員、関係機関、障がい児者のご家族  
福祉関係養成学校の教員、学生、本研修会に興味のある方。  
※学生の方は、参加費は無料となります。

◆定 員 300人

◆日 程

1日目：11月7日（木）

時 間	内 容
12:00	受付開始、製品販売開始、みんなのアート展示開始 [みんなのアート 秋田県内在住の利用者の皆さんの作品を展示しております。ご覧いただき、利用者さんの思いを共有しましょう。]
13:00	開会式 ～放光の間（4F）～ 東北地区知的障害者福祉協会 会 長 井上 博 秋田県知的障害者福祉協会 会 長 桜田 星宏
13:10	事務連絡 “生活サポート総合補償制度について” JIC 北東北支店 支店長 佐々木貴志 氏
13:15	開会行事 竿燈のお囃子（秋田市竿燈会） 東北フォーラム 2019 in あきた実行委員長あいさつ “製品アピール” 東北物産展 出展販事業所から製品のご紹介
14:00	休憩、買い物タイム
14:20	様々な支援の取り組みの体験（3時間の中で、2つの体験を選択） 第一体験《知的障害、自閉症を持つ方たちの感覚を実体験を通して学ぶ》 第二体験《自閉的傾向を有する方々が集中して取り組める環境づくり》 第三体験《ロールプレイをやってみよう》 第四体験《福祉の現場にアートの視点を！》
17:20	事務連絡 ※各体験会場にて
18:30	懇深快(情報交換会) ～放光の間（4F）～

2日目：11月8日（金）

9:00	宮城、秋田、福島、岩手、青森、山形6県から想いの発表
11:50	講演「言葉が未来をつくる」 講師：加藤 史子 氏（夢の実現を応援するメンタルトレーナー）
13:00	閉会式

## ◆大会プログラム

1日目：11月7日（木）

- 12:00～ 【受付開始】【製品販売開始】  
【みんなのアート展示】 会場：4F放光の間
- 13:00～13:15 【開会式】【事務連絡】
- 13:15～14:00 【製品アピール等】
- 14:20～17:20 【様々な支援の取り組みの体験】 会場：4F矢留の間等

今回のフォーラムでは、色々な支援のしかた、視点の持ち方を“体験”して頂きます。①14:20～15:40②16:00～17:20の時間帯で、それぞれ4つの体験の中から一つを選び、参加して頂きます。3時間の中で、2つの体験に参加できます。

**※申込人数によっては、調整させていただく場合がありますので、ご了承下さい。**

### ○第1体験 《知的障害、自閉症を持つ方たちの感覚を実体験をとおして学ぶ》

講師 兵庫県 知的障害啓発団体びーす&ピース 代表 矢野 一隆 氏

知的障がい者の擬似体験は矢野氏の「知的障がいをみんなに楽しく理解してほしい」との思いから始まった活動です。現在は全国各地から講演依頼があり日本中を飛び回っています。障がいを持つ方たちの感じ方、見え方を体験し、障がいを持つ方の目線に立って、日々の支援の在り方を見直すきっかけになればと思います。

### ○第2体験 《自閉的傾向を有する障害児者に向けた取り組み》

講師 秋田県 ヴィーヴィルきたあきた 管理者 伊藤 清貴 氏

自閉的傾向を有する方々は、より個人個人の特性に配慮した支援が必要になります。第2体験では、講演と演習を通して「自閉的傾向を有する方々が集中して取り組める環境づくり」の手法の一部を紹介します。自閉的傾向を有する方々の特性や感じ方を学び、皆様の今後の支援の一助になればと思います。

※1回目・・・注視、着席行動を身に着ける、マッチングの応用

※2回目・・・課題分析とパニックを減らす方法

### ○第3体験 《ロールプレイをやってみよう

～より良い支援のために気づきを深めよう～

講師 山形県 山形県社会福祉事業団 サポートセンターおきたま

相談支援専門員 平間 みゆき 氏

ロールプレイとは、身近な具体的な場面を再現した寸劇を通して、気づきを深めることを目的としたツールのひとつです。ロールプレイの体験とグループ意見交換を通して、支援者としての振り返りと、より良い支援の学び・気づきの機会にしていだければと思います。

○第4体験 《福祉の現場にアートの視点を！ ～一人ひとりの表現を受け取る～》

講師 秋田県 秋田公立美術大学 准教授 安藤 郁子 氏

いつもの福祉の現場を、アートの視点から捉えなおしてみることによって、その方の生きがいや前向きな意欲を、引き出すことができます。まずは支援者であるあなたに、アートの楽しさを実感してもらいたい。陶芸ではなく「土遊び」を実際に体験することによって、表現することのよろこびを実感してみましょう。

●18:30～【懇深快(情報交換会)】 会場：放光の間（4F）

趣旨「東北六県のつながりを更に深め、愉快で楽しい時間を共有します！」

◎クイズ大会

◎名刺交換をいたします。名刺を忘れずにお持ちください。

●終日開催【就労支援事業製品の販売】

1日目は12:00販売開始です。東北各県から様々な販売を行います。是非、早めに来て頂き、東北各県の製品を堪能して下さいませ様ご案内申し上げます。また、販売売り上げの上位2施設の表彰を行います。

今年は、当たり商品を用意しておりますので、ぜひ販売ブースへお立ち寄りください。さらに、大当たりのチャンスもあります。

●終日展示【みんなのアート】

秋田県内で絵画等の制作に励んでいる方の作品を展示します。作者の思いや心の豊かさを共有してみませんか。メッセージカードを用意していますので、あなたの気持ちを伝えてみませんか。

2日目：11月8日（金）

●9:00～11:50【東北各県からの発表】

9:00～9:20

宮城県 テーマ「誰もが自分の心と体の主人公」

宮城県のスタッフ部会では、昨年度から「性支援」について研修会を通して取り組んでおります。今回はその内容をお伝えしながら、ひとりひとりの「生と性」について、Q&A形式で皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。

9:25~9:45

秋田県 テーマ「親亡き後を支えるのは、支援者の寄り添う気持ち」

発表者 渡部加代子 氏

私には自閉症の娘と認知症の義母がいます。卒業後の進路やサービス利用時、親亡き後…不安がいっぱいです。でも施設の職員さんの「大丈夫ですよ」の一言に救われます。また職業としてこの仕事を選んだ方々には頭が下がります。保護者からの視点でお話をしたいと思います。

9:50~10:10

福島県 テーマ「やる気スイッチ」

あなたのやる気スイッチ。仕事に対するモチベーションは何ですか？  
支援スタッフ部会に所属する職員を中心に、働く上でのやる気スイッチを  
フォトムービーで発表します。

▲休憩、買い物タイム 10:10 ~ 10:30

10:30~10:50

岩手県 テーマ「All for one ~もう一度考える、自分たちの仕事~」

発表者 社会福祉法人 いきいき牧場 クローバーの家 高橋 鉄兵 氏  
社会福祉法人 いきいき牧場 元気丸 松草 秀謙 氏

ある障害者支援施設で再会した同級生の二人が、今回のフォーラムをきっかけに中堅職員として自分たちの仕事について真剣に考えてみました。新人だった頃の自分、ライバルでもある同級生、今後のキャリアデザインについても発表していきます。皆さんも応援してください。

10:55~11:15

青森県 テーマ「親の想い~これまで感じてきたこと、そして、未来に向けて~」

わが子の障がい分かり、受け入れ、そして振り返って想うことは何なのか。障がいを持つ親としてこれまでの子育てで感じてきたこと、これから子どもの人生について想うこと、家族としてどのように暮らしていきたいか。ご家族の想いを動画で皆さんに発信して頂きます。

11:20~11:40

山形県 テーマ「利用者さんのおもい≠支援者のおもい」

～ノットイコール(≠)を考えよう～

利用者さんのおもいと支援者のおもいが(≠)ノットイコールの時に支援の悩み・迷いが大きくなります。山形県発表では、会場の皆さんとグループワークを行いながら支援の悩み・迷い等を共有し、支援者の気づき・姿勢を考えたいと思います。

● 11:50~12:50 【講演】

講演 「言葉が未来をつくる」

講師 加藤 史子 氏 (夢の実現を応援するメンタルトレーナー)

どのような未来でも実現できるとしたら、あなたはどんな未来をつくりたいですか？言葉が感情をつくり、感情が行動につながり、行動が習慣になり、習慣は人生をつくりまします。言葉を変えれば、未来を変えていけるのです。自分自身にどのような言葉を使っていますか？まわりの人たちにどのような言葉をかけていますか？福祉の現場が元気になる言葉を、みんなで見つけていきませんか？

◆ 13:00~13:30 【閉会式】

製品表彰 (売り上げ1位、2位)

次期開催県協会会長挨拶、実行委員長挨拶、実行委員全員挨拶

◆参加費等 参加費6,000円 (※学生は無料) <sup>こんしんかい</sup>懇深快(情報交換会)費6,500円

◆参加申し込み

別紙申込書に必要事項を記入の上、FAX又は郵送にて下記へお申し込みください。

申込先：株式会社近畿日本ツーリスト東北 秋田支店

〒010-0951 秋田市山王3-1-7 東カンビル2階

TEL 018-896-4890 FAX 018-896-4922

担当：八島・田中

◆申し込み締め切り 令和元年10月4日(金) 必着

◆問い合わせ 東北地区知的障害者福祉協会 事務局 (担当 <sup>やつやなぎ</sup>八柳)

〒990-0033 山形県山形市諏訪町1丁目2-7

TEL 023-674-8652 FAX 023-674-8653